

SHIMANE DX NEWS

島根県内企業のデジタル化の取り組みを紹介！

中小企業デジタル導入加速化補助金 活用事例

株式会社 山崎組

設立：1921年4月

資本金：2,000万円、従業員：40名

所在地：大田市鳥井町鳥越413-14

事業内容

- 解体工事
- 土木工事
- 産業廃棄物処理

解体工事現場作業における重機及び アタッチメントの選定業務効率化

デジタル導入のきっかけ

解体工事では事前の調査をもとに重機計画を含めた施工計画の作成・見積を行っている。「現場作業シミュレーションシステム」を開発し、適切な重機及びアタッチメントの選択を「見える化」することで解体計画の精度向上と安全の強化を図る。

取組内容

解体現場の建造物をドローンでスキャンして3D画像としてシステムに取り込み、所有している重機とアタッチメントの中から作業に適したものを組合わせて選択し、解体現場の重機配置をシミュレーション出来るシステムを構築。

デジタル導入の効果

- 以前は事前調査や経験により重機を配置していたが、システムでシミュレーションすることで作業計画の精度が上がり、現場への指示も明確になった。また、重機の転倒範囲も予測できるため、安全性も高まった。
- 解体する建造物の図面が残っていないことが多く、従来は1日かけて紙に図面を起こしていたがシステム導入により半日程度で3D画像が作成できるようになった。



今後の展望

現場経験がないと現場で活用するシステムを扱うことは難しいため、現場とシステムに精通する人材を丁寧に教育していきたい。
また、他の業務へのシステム導入も積極的に検討している。

発行者：島根県産業デジタル推進室

